

デジタルアーカイブ化する各プロジェクトの協力経験の項目

データ項目例 . プロジェクトの背景：数学教育に関する文化・現状，社会的必要性

- 当該国の現状：就学率，達成度，プロジェクトの社会的な必要性など
- 当該国の数学教育史の概略：当該国の数学教育に関する文化と現状など
- 当該国の教育制度：教師養成・現職教育，免許資格，教育段階，行政制度，カリキュラム制度など数学教育の視点から
- プロジェクトスキームの背景情報：行政的構図，国内外の実務的な窓口の図解など

データ項目例 . プロジェクトの変遷：必ずしも JICA のプロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)の制約内に限らず，協力の実質で。

- プロジェクトの目的・方法・展開とその変容
- スキーム・カウンターパート等との関係とその進展

データ項目例 . プロジェクトの活動内容：いかなる技術移転をどのような方法で？

そこで強調(期待)された数学的活動や指導法は何か？

- 意図された技術移転内容：構想，その狙い，対象と方法，特徴，強調点など
- 実施された技術移転内容：研修や教材開発の実情，及びその原因など

データ項目例 . プロジェクトの成果：何が技術移転されたか？

- 有形の所産：開発された教材や指導体系，教師用指導資料，達成度の変化，指導法など
- 無形の所産：指導法などに現れる授業観・数学観変容などについて実際のエピソードや写真，VTRを工夫して示すなど
- 教訓としての評価：JICAのPDMにこだわらない，数学教育としての課題。

データ項目例 . プロジェクトの総括，教訓と提言

- プロジェクトの教訓と課題
- 新たに提案したいトピックや協力，展開モデルなど。発展モデル(伝達型→共有型→開発型)，役立つ日本の教育経験，日本の教育の殊性，現職派遣隊員との連携手法の開発，パイロティングなど

データ項目例 . その他添付資料等

- 開発した教材の現物，研究会・学会発表原稿などの参考資料，VTRなど